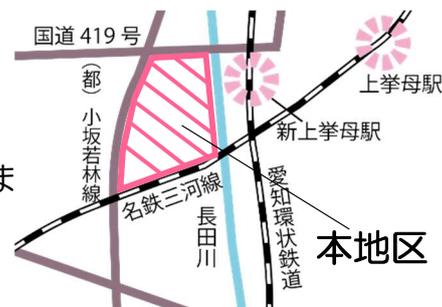


みんなで考えよう！  
このまちの未来について

## (仮称)新上拳母駅西地区 第2回まちづくり勉強会を開催しました！

相変わらずの寒さで、春の訪れが待たれる昨今ですが、いかがお過ごしでしょうか。さて、去る12月18日(日)、朝日丘交流館多目的ホールにおいて、「(仮称)新上拳母駅西地区(以下、本地区とします)第2回まちづくり勉強会」を開催しました。当日は、お忙しい中、多くの方にご出席いただき、誠にありがとうございました。



本地区は、都心に近く、愛知環状鉄道 新上拳母駅に隣接した**利便性の高い、住宅地として適した地区**と考えています。一方、まちづくりを進めていくためには、土地所有者のみなさまの**合意形成**が必要です。当勉強会は、本地区の「**住宅地としてのポテンシャル**」と「**地域資源**」等を踏まえた**まちの将来像**をみなさまとともに検討していくことを目的に開催しました。

引き続き、まちづくりへの取組状況など、通信として情報発信していきますので、よろしくお願い致します。

## (仮称)新上拳母駅西地区 第2回まちづくり勉強会の概要

■開催日時：令和4年12月18日(日)午後4時～

■開催場所：朝日丘交流館 多目的ホール

■参加者：36名

■内 容：

(1) 前回(第1回 11月27日)のふりかえり

- ・第1回勉強会のふりかえりと併せて本地区でまちづくりを検討する背景、理由について、あらためて整理するとともに、今後のまちづくりの必要性を説明しました。また、まちづくりを進めていく上で必要な土地所有者の方々の合意形成の目途となる時期(令和6年3月まで)をお示しました。

(2) 事例紹介

- ・まちづくりの先進事例として、みよし市の「MIYOSHI MIRAITO (ミヨシミライト)」、長久手市の「公園西駅周辺土地地区画整理事業」について、事例写真を使い、まちづくりコンセプトやまちの特徴を説明しました。

(3) まちの将来像

- ・本地区の現況を整理し、住宅地として適した場所であることを説明しました。また、本地区の地域資源をあらためて確認し、まちの将来像における、そのキーワードをイメージ図や写真を使い紹介しました。

(4) まちづくり(開発)の可能性

- ・まちづくりを進めるための条件：①まとまった区域の確保 ②幹線道路との接続 ③雨水排水(調整池)の設置について、事例写真や開発イメージ図を使い、説明しました。

(5) 質疑応答・意見交換

- ・上記の内容について、参加されたみなさまと話し合いました。



## ■ 第2回勉強会でのご意見・質疑応答（当日アンケートの質問含む）

質問1) まちづくりは、市が主体とならなければ進まないと思うが、主体は市と地元どちらなのか。

回答1) 市としては、住宅地整備を促進していく地域として、本地区を「居住誘導拠点」に位置付けております。そのため、まちづくりのきっかけとなるように、勉強会を開催しております。

一方、まちづくりを進めていくためには、土地所有者の方々の意向や合意が必要です。また、まちづくりを進めることになれば、将来的には土地所有者の方々に組織を立ち上げて、運営していただく必要もあります。どちらが主体という事ではなく、地元の方々と一緒に取り組んでいきたいと考えています。



質問2) 新上挙母駅と上挙母駅を総合駅とし、産業や商業が活発になるような検討をして欲しい。

回答2) 総合駅化については、現状では非常に難しいと考えており、市としての計画はありません。

質問3) 豊田市の人口が減っていくのに住宅地をつくって大丈夫でしょうか。

回答3) 市として人口が減少している状況ですが、市外転出者への受け皿としての役割や、世帯分離による住宅需要もあることから、宅地が必要だと考えています。また、早期の宅地供給による市外への人口流出の抑制が必要と考えています。

質問4) 反対者が1名でも存在したら、まちづくりはどうなるのでしょうか。

回答4) まちづくりに反対の方がいても、安易に断念するのではなく、勉強会などで気運醸成を図り、まちづくりに対する理解を深めていただけるよう取り組んでいきたいと考えています。また、今回の勉強会の対象区域すべての土地所有者の同意がないと、まちづくりが進まないということではなく、一部のまとまった区域・面積の土地所有者の合意が得られれば、区域を絞り込んで、まちづくりの検討を進めていくことを考えています。

質問5) まちづくりに土地所有者が参加して、どのような役割で何をすれば良いのでしょうか。

回答5) 土地所有者の方々のまちづくりへの合意を基に、権利者組織の立ち上げや、開発手法の検討、まちづくりの計画など、意見交換をしながら具体的に進めていくこととなります。みなさまがまちをつかっていく、という意識をもっていただくことが必要と考えています。



質問6) 開発とは別に、市が道路整備を先行すればよいのではないのでしょうか。

回答6) 道路整備については、交通量や沿道の土地利用などを踏まえて、道路整備自体の必要性を判断することになります。このため、まちづくりと合わせて検討すべきと考えています。

まちづくりや勉強会などについて、ご意見等があれば下記までお願いします。

【問合せ先】 豊田市役所 企画政策部 土地利用調整課 担当者 小出/古山  
電話：(0565) 34-6605 (直通：平日 8:30~17:15)  
FAX：(0565) 32-3794

広報とよたHP番号検索

1050920

表示

豊田市役所 HP の QR コード

